

# 第3期知的基盤整備 計画の検討経緯

第13回 産業構造審議会産業技術環境分科会知的基盤整備特別小委員会・  
日本産業標準調査会基本政策部会知的基盤整備専門委員会 合同会議 資料  
(令和3年2月15日)

# 新たな知的基盤計画の策定に当たって

科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律（平成20年法律第63号）

（研究開発施設等の整備）

第24条の4 **国は、研究開発能力の強化を図るため**、国、研究開発法人及び大学等の研究開発に係る施設及び設備（第35条において「研究開発施設等」という。）、情報処理、情報通信、電磁的記録の保管等に係る施設及び設備並びに**研究材料、計量の標準、科学技術に関する情報その他の研究開発の推進のための知的基盤をなすもの**（同条において「知的基盤」という。）**を整備するために必要な施策を講ずるものとする。**

（研究開発施設等の共用及び知的基盤の供用の促進）

第35条 **国は、研究開発施設等の共用及び知的基盤の供用の促進を図るため**、国、研究開発法人及び国立大学法人等が保有する研究開発施設等及び**知的基盤のうち研究開発機関及び研究者等の利用に供するものについて**、その利用に必要な情報の提供その他の当該研究開発施設等及び**知的基盤を広く研究開発機関及び研究者等の利用に供するために必要な施策を講ずるものとする。**

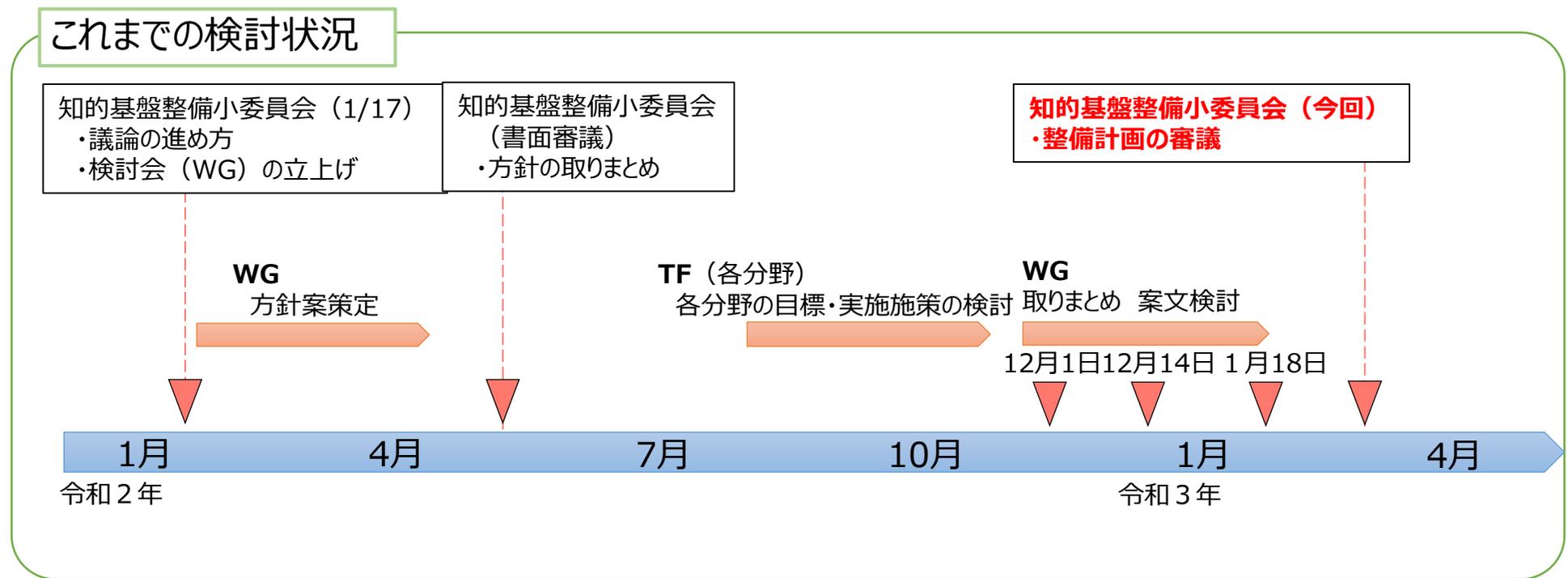
2 **研究開発法人及び国立大学法人等は、その保有する研究開発施設等及び知的基盤のうち研究開発機関及び研究者等の利用に供するものについて、可能な限り、広く研究開発機関及び研究者等の利用に供するよう努めるものとする。**

## 知的基盤整備計画の策定意義

- ◆法は、研究開発を効率的に進めるために、研究開発や情報処理等に係る施設等とともに、研究材料、計量標準、情報等の知的基盤も併せて整備することを求めている（第24条の4）。また、整備した研究開発に係る設備と知的基盤について、広く活用・普及することを求めている（第35条）。
- ◆これを踏まえ、国として、研究開発等に係る施設の整備等と相まって、イノベーション創出を活性化するための知的基盤の整備、利活用に係る計画（知的基盤整備計画）を策定してきた。
- ◆他方、知的基盤整備計画は、第1期計画の検討・策定から20年が過ぎようとしており、その間、社会・経済情勢には大きな変化があった。これに伴い、研究開発力強化・イノベーション創出の活性化の議論についても、その背景を見直す時期に来ているのではないか。
- ◆そこで、今般、第3期知的基盤整備計画を策定するにあたり、その背景の変化を踏まえ、知的基盤整備計画の在り方を見直すべきではないか。

	【第1期(平成13~平成22年度)】				【第2期(平成23~令和2年度)】	
<b>知的基盤整備 特別委員会 (特別小委員会)</b>	報告書 平成10年6月 【概念整理等】	中間報告 平成11年12月 【目標の策定】	中間とりまとめ 平成13年6月 【地質分野追加】	報告書 平成22年6月 【第1期の総括】	中間報告 平成24年8月	第2期知的基盤整備 計画(分野別) 平成26年3月
<b>その他の 検討状況</b>	第1期科学技術 基本計画 平成8年7月	第2期科学技術 基本計画 平成13年3月	知的基盤整備 計画(答申) 平成13年8月		第4期科学技術 基本計画 平成23年8月	1

# 検討経緯



## 【各分野TF開催日】

### 計量標準・計測分野

- 8月25日 10:00~12:00
- 9月25日 10:00~12:00
- 10月27日 14:00~16:00

### 微生物遺伝資源分野

- 8月26日 14:00~16:00
- 10月 1日 10:00~12:00
- 10月28日 10:00~12:00

### 地質情報分野

- 8月25日 14:00~16:00
- 9月23日 10:00~12:00
- 10月23日 14:00~16:00

# WGにおける主な論点

- 「新たな知的基盤計画の目指すべき方向性」に基づき、各パートが統一感を持って検討されているか
  - 出口（解決すべき社会課題）が明示されているか
  - 縦割りに陥ることなく、横断的に解決策が呈示されているか
  
- 5月の全体討議で議論されたトピックの中で、反映できていない論点はないか
  - DX推進、グリーン社会の実現（2050年カーボンニュートラル達成など）等、社会情勢を踏まえ直ちに重点化・加速化すべき政策について検討がなされているか
  
- 全体を通じて実施計画が矛盾なく、無理なく実行できるものとなっているか
  - 計画のマイルストーンが適切に置かれているか
  - 各パートで想定する時間スケールの矛盾などはないか（特に横断的課題）
  
- その他

# 新たな知的基盤に関する検討会（WG）

## ■ 委員

- 日高 邦彦（委員長：東京電機大学大学院 特別専任教授  
東京大学 名誉教授）
- 大越 正弘（福島大学地域創造支援センター 副センター長兼 教授）
- 乙黒 美彩（山梨大学大学院 総合研究部生命環境学域 准教授）
- 小島 孔（一般社団法人 日本計量機器工業連合会常務理事）
- 向山 栄（国際航業株式会社 公共コンサルタント事業部国土保全部 技術開発担当部長）

	第1回WG（2020.12.1） 経産省内会議室	第2回WG（2020.12.14） 経産省内会議室 （Web会議併用）	第3回WG（2021.1.18） 経産省内会議室 （Web会議併用）
位置付け	分野別TFでの検討結果の報告 第3期知的基盤整備計画の全体像の 審議	第3期知的基盤整備計画の全体像の 提示、社会情勢を踏まえた課題の検討	整備計画案・ロードマップ案の審議
議事内容	1. 委員長選任 2. 目指すべき方向性の検討経緯 3. 各分野TFでの議論の結果について 4. 第3期知的基盤整備計画の全体 像および目次案について 5. 今後の検討予定について 6. 第2回、第3回の日程調整	1. 第1回WG議事要旨確認 2. 新たな知的基盤整備計画（案） について 3. 社会情勢を踏まえ直ちに重点化・ 加速化すべき政策について 4. まとめと次回WGに向けた作業確認	1. 第2回WG議事要旨確認 2. 第3期知的基盤整備計画（案） およびロードマップの確認 3. 社会情勢を踏まえ直ちに重点化・ 加速化すべき政策について 4. まとめと今後の審議の進め方につい て

# 計量標準・計測分野TF

## ■ 委員

- 小島 孔（座長：一般社団法人 日本計量機器工業連合会）
- 植松 慶生（公益財団法人 日本適合性認定協会）
- 白鳥 慎治（一般社団法人 日本計量振興協会）
- 杉沢 寿志（一般社団法人 日本分析機器工業会）
- 藤川 敬浩（一般社団法人 日本試薬協会）

## ● オブザーバー

- 浅野 浩太（一般財団法人 日本品質保証機構）
- 上原 伸二（一般財団法人 化学物質評価研究機構）
- 織原 隆夫（日本電気計器検定所）
- 岸本 勇夫（独立行政法人 製品評価技術基盤機構 認定センター）
- 花土 ゆう子（国立研究開発法人 情報通信研究機構）

	第1回TF（2020.8.25） Web会議	第2回TF（2020.9.25） 産総研臨海副都心センター会議室 （Web会議併用）	第3回TF（2020.10.27） 産総研東京本部会議室 （Web会議併用）
位置付け	TFの目的、知的小委での検討の経緯及び方向性の確認、分野における新たな整備計画の方向性及び作成方針の審議	ニーズ調査等の報告、横断的課題に関する提案、整備計画案・ロードマップ案の審議	整備計画案・ロードマップ案の確認及び最終審議
議事内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 座長選任</li> <li>2. TFの目的、進め方の確認</li> <li>3. 知的小委におけるこれまでの検討の経緯と目指すべき方向性の確認</li> <li>4. 当分野における新たな整備計画の方向性及び作成方針の検討と審議</li> <li>5. まとめと次回TFに向けた作業確認</li> <li>6. 第2回、第3回の日程確定</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第1回TF議事要旨確認</li> <li>2. 第1回TF審議事項の反映確認</li> <li>3. オブザーバー機関（DI、指定校正機関、認定機関）からの横断的課題に関する活動の提案</li> <li>4. ニーズ調査等の報告</li> <li>5. 整備計画案・ロードマップ案の審議</li> <li>6. まとめと次回TFに向けた作業確認</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第2回TF議事要旨確認</li> <li>2. 第2回TF審議事項の反映確認</li> <li>3. 整備計画案・ロードマップ案の最終審議</li> <li>4. まとめとWGに向けた作業確認</li> </ol>

# 微生物遺伝資源分野TF

## ■ 委員

- 乙黒 美彩（座長：山梨大学大学院 総合研究部 生命環境学域 准教授）
- 梶浦 貴之（味の素株式会社 生産統括センター 主席研究員）
- 川本 祥子（大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 系統情報研究室 准教授）
- 中川 智（一般財団法人バイオインダストリー協会 事業連携推進部長）

	第1回TF（2020.8.26） NITE会議室 （Web会議併用）	第2回TF（2020.10.1） NITE会議室 （Web会議併用）	第3回TF（2020.10.28） NITE会議室 （Web会議併用）
位置付け	TFの目的、知的小委での検討の経緯及び方向性の確認、バイオ戦略の説明、新たな整備計画の方向性及び骨子（各記載項目）の審議	整備計画案・ロードマップ案の審議	整備計画案・ロードマップ案の審議
議事内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 座長選任</li> <li>2. 第3期知的基盤整備計画の策定経緯</li> <li>3. これまでの知的基盤整備計画（第1期、第2期）の主な成果等</li> <li>4. 新たな「知的基盤整備計画」の目指すべき方向性について</li> <li>5. バイオ戦略について</li> <li>6. NITEのバイオ×デジタル基盤</li> <li>7. 第3期知的基盤整備計画の策定にむけて</li> <li>8. 第2回の日程調整</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第1回TF議事要旨確認</li> <li>2. 新たな「知的基盤整備計画」の目指すべき方向性について</li> <li>3. バイオ戦略に掲げられた「バイオエコノミー社会の実現」に向けた整備計画の考え方</li> <li>4. （整備計画）バイオ戦略で設定された市場領域への貢献</li> <li>5. （整備計画）バイオとデジタルの融合のためのデータ基盤の整備</li> <li>6. （整備計画）微生物遺伝資源の基盤強化</li> <li>7. 新たな知的基盤整備計画ロードマップの作成について</li> <li>8. 第3回の日程確定</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第2回TF議事要旨確認</li> <li>2. 微生物遺伝資源分野における新たな整備計画の骨子（案）の確認</li> <li>3. 整備計画案・ロードマップ案の最終審議</li> <li>4. まとめとWGに向けた作業確認</li> </ol>

# 地質情報分野TF

## ■ 委員

- 向山 栄 (国際航業株式会社公共コンサルタント事業部  
国土保全部 技術開発担当部 部長)
- 岩田 孝仁 (静岡大学防災総合センター特任教授)
- 須貝 俊彦 (東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)
- 北田 奈緒子 (一般財団法人地域地盤環境研究所 理事)
- 鈴木 毅彦 (東京都立大学都市環境学部 地理環境学科 教授)

	第1回TF (2020.8.25) (Web会議併用)	第2回TF (2020.9.23) (Web会議併用)	第3回TF (2020.10.23) (Web会議併用)
位置付け	活動の趣旨・目的説明、全体素案提示、整備実施方策説明	活動の趣旨・目的説明、整備実施方策説明、利用促進策説明	活動の趣旨・目的説明、整備実施方策説明、利用促進策説明及び最終審議
議事内容	1. 委員長選任 2. 委員会の趣旨、活動目的 3. 全項目の計画素案の提示のうち、整備実施方策に係る部分の説明と審議 4. 第1回検討の主要論点 陸域地質図 都市域の地質地盤図 沿岸域地質 活断層 必要性、目標、現状確認、課題、手段と展開 5. まとめ	1. 第1回検討課題修正案の審議 2. 計画素案のうち、整備実施及び利用促進方策に係る部分の説明と審議 3. 第2回検討の主要論点 地下水 火山 津波情報 地質情報の利活用向上のための方策 ① (特にデータベースとビッグデータ化) 目標、現状確認、課題、手段と展開 4. まとめ	1. 第1回～2回検討課題の再修正案の審議 2. 計画素案のうち、整備実施及び利用促進方策に係る部分の説明と審議 3. 第3回検討の主要論点 海洋地質 衛星情報 鉱物資源 地質情報の利活用向上のための方策 ② (地質情報の普及・浸透) 目標、現状確認、課題、手段と展開 その他整備体制強化、外部連携 4. 最終審議 5. まとめ